

令和6年度

外国にルーツをもつ子どもの 学習支援の担い手研修

主催：岐阜県 事務局：岐阜県日本語学習支援センター〔(公財)岐阜県国際交流センター内〕

 すべてオンラインで、午後7時～8時30分開催 *一回のみの参加も可

第1回

令和6年
12.26
[木]

外国にルーツをもつ子どもの
高校入試と将来を見据えた在留資格の話
講師1：井上 敦司 氏
(国際行政書士 井上イミグレーション・コンサルティング)
講師2：岐阜県教育委員会高校教育課

申込
12.22
まで

第2回

令和7年
1.21
[火]

多文化多言語な子どもたちの
学びを止めない居場所作り
講師：立命館大学国際コミュニケーション学域
教授 佐野 愛子 氏

申込
1.14
まで

第3回

令和7年
2.7
[金]

日本語指導が必要な子どもたちの学びを
支援する方法
講師：岐阜大学教育学部 教授 今井亜湖 氏

申込
1.31
まで

●研修時間内に、参加者同士のグループワークを行う予定です。

申込フォーム



<https://forms.gle/Wi2WkRHjRfuuvDSn7>

岐阜県には、「外国にルーツをもつ子ども」*が多く暮らしています。また、県内の公立学校に在籍する日本語指導を必要とする児童生徒は約2,000人に上ります。** このような子どもたちの言語的文化的背景は多様です。

今年度の研修では、そんな子どもたちの側にいる支援者のみなさんに、子どもたちが日本社会で自立していくために必要な在留資格等の話、ことばの力を育てていく支援について知る機会を提供します。ぜひご参加ください。

* 本人の国籍に関わらず、両親の両方またはどちらかが外国籍である等様々な形で外国につながりを持つ子どもたちのこと

** 文部科学省「令和5年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」



岐阜県日本語学習支援センター〔(公財)岐阜県国際交流センター内〕 担当：福川

TEL:058-214-7700 メール:gic@gic.or.jp

文部科学省「令和6年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



文部科学省